



Center News No.38 2002.4.25

<http://www.cc.saga-u.ac.jp/>

問い合わせ：業務室(8592)

センター相談

月～金 12:15～16:15

新システムの運用が始まり演習室利用者の相談が増加しているため、電話による相談はしばらくの間お休みします。

1. 教職員等の「一般・研究用システム」の利用継続の手続きについて
2. ホームページで利用できる電子メールソフト「WebMailer」について
3. ワーム型ウイルス「W32.Klez」の注意について

1. 教職員等の「一般・研究用システム」の利用継続の手続きについて

平成14年度の「一般・研究用システム」の利用継続手続きを行います。

各利用者に「一般・研究用システム利用継続申込書」を配布しますので、「利用継続申込書」が届きましたら氏名欄に氏名(サイン)を記入し、5月10日(金)までに学内便で学情センターに返送して下さい。なお、平成14年4月以降に利用申し込みを行った利用者には、「利用継続申込書」は配布していません。また、退職や転出された教職員及び平成14年3月31日までに利用期限が切れた利用者については、メールの転送やファイルの整理等の作業ができるよう到来年(平成15年)の3月末まで利用できます。

2. ホームページで利用できる電子メールソフト「WebMailer」について

本学では、ネットワークのセキュリティ上、インターネット経由で学外から学情センターのメールサーバの利用(メールの送受信)ができないようになっていました。そのため、学情センターでは、学外から学情センターのメールサーバが利用できるように電子メールソフト「WebMailer」のサービスを行っています。

「WebMailer」は、Internet Explorer または Netscape などのブラウザを使って、「WebMailer」のホームページにアクセスすることにより教職員利用の研究用メールサーバと学生利用の教育用メールサーバを利用することができます。特に出張先など学外からのメールの利用に便利ですので、是非、ご利用下さい。

WebMailer の URL は、<http://webmailer.cc.saga-u.ac.jp/> です。

また、研究室等で普段使っているメールソフトでメールが受信できなくなったときにも、「WebMailer」でメールサーバに届いているメールの確認や不要なメールの削除などができます。

3. ワーム型ウイルス「W32.Klez」の注意について

ワーム型ウイルス「W32.Klez」は、メールとネットワーク共有ファイルなどにより感染する非常に危険なウイルスです。感染するとウイルス駆除ソフトを無効にしようとしたり、ファイルの内容をゼロで書き換えてしまう発病症状を持っています。

また、W32.Klez には、複数の亜種があり、学内でもこのウイルスによる被害が出ています。特にセキュリティホールにパッチを当てていない Microsoft Outlook または Outlook Express で受信した場合は、このウイルスが自動的に実行される可能性があります。

このウイルスの駆除方法など詳しい情報は、<http://www.symantec.com> をご覧下さい。